

■小川正子 救ライ活動家。体験記「小島の春」はベストセラーになったが、早世した。

おがわまさこ

教科書疑獄・1902＝ 山梨県春日居町の生れ。

日露戦争終・1905＝ 3歳：

大逆事件判決1911＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝10歳：

本格政党内閣1918＝16歳：甲府高等女学校卒業し、東京女子医学専門学校予科に入学。同年、樋貝詮三と結婚したが、

大暴落・・・1920＝18歳：

原敬首相暗殺1921＝19歳：離婚。

この間、_全生病院を見学して、光田健輔に私淑するようになり、

世界恐慌・・・1929＝27歳：卒業。*救ライ活動に生涯を捧げることを決意して、東京大久保病院で細菌学、内科を修め、東京賛育会で小児科を習得する。

満州事変・・・1931＝29歳：

五一五事件・1932＝30歳：*瀬戸内海の孤島の長島愛生園(ライ療養所)で診療・収容をはじめ、以後、献身的に活動、

日中戦争始・1937＝35歳：

健保+総動員 1938＝36歳：*体験記「小島の春」はベストセラーとなるが、過労のため肺結核となって休職、

_以後、郷里で療養するうち、

大政翼賛会・1940＝38歳：「小島の春」が映画化される。

日米開戦・・・1941＝39歳：

創価学会検挙1943＝41歳：_没した。

戦後、母校の東京女子医科大学に記念碑が建てられた。